

# 平成23年度 教育委員会 第14回定例会 議案

1 日 時 平成23年10月31日（月） 午後1時

2 場 所 教育委員会議室

3 日 程

(1) 開 会

(2) 議 事

<非>第21号議案 平成23年度静岡県教育委員会表彰者の決定 … 非

<非>第22号議案 平成23年度末教職員人事異動方針 … 非

(3) 報告事項

(4) 閉 会

## 第14回定例会 報告事項

番号	項 目	Page
1	「事業仕分け」の実施状況	1
2	平成 23 年 9 月県議会定例会の答弁状況	5
3	青少年の相互交流推進事業「スポーツ交流（高校野球）」	8
4	静岡地区新構想高等学校（仮称）の校名応募状況	9
	11 月の主要行事予定	10

## 「事業仕分け」の実施状況

(教育総務課)

### 1 概 要

本年度 3 年目となった「事業仕分け」では、初めて一般県民が評価者となり、事業の必要性を判定した。

仕分けでは、事業ごとに、①「行政関与不要」、②「国・市町が実施すべき」、③「県実施で抜本見直し」、④「県実施で一部見直し」、⑤「県実施で現行どおりまたは拡充」の 5 区分に評価したところ、教育委員会所管の 4 事業 5 件については、いずれも「県実施で一部見直し」と判定された。

(※ 県全体では、計 30 事業 34 件を仕分けし、1 件が不要、24 件が一部または抜本見直しが必要と判定された。)

### 2 実施内容

- (1) 名 称 “ふじのくに” 士民協働事業仕分け
- (2) 実 施 日 平成 23 年 10 月 15 日 (土)、16 日 (日)
- (3) 対象事業数 30 事業 34 件 (5 事業×3 班×2 日)
- (4) 評 価 者 無作為抽出した県民評価者 150 人 (25 人×3 班×2 日)
- (5) 議 論 コーディネーター及び専門委員 (5 人×3 班×2 日)
- (6) 作 業 時 間 1 事業あたり 50 分
- (7) 事 業 選 定 対象は、政策的経費であって、平成 23 年度新規事業、事業仕分け実施済事業及び文化・研究事業を除いた事業

### 3 判定結果

事業番号	事業名	担当課	結果
1	教育委員会広聴事業費	教育政策課	県実施 (一部見直し)
13	外国人児童生徒トータルサポート事業費	学校教育課	県実施 (一部見直し)
14	全国総合体育大会等派遣費助成	学校教育課	県実施 (一部見直し)
17-1	青少年健全育成費 (ア) 地域青少年活動総合推進事業	社会教育課	県実施 (一部見直し)
17-2	青少年健全育成費 (イ) 青少年地域連携非行防止対策事業 (ウ) 青少年をめぐる環境整備のための緊急対策事業	社会教育課	県実施 (一部見直し)

事業仕分け結果

事業番号	事業名 (担当課・事業費等)	仕分け結果	県民評価者判定内訳(人)							
1	教育委員会広聴事業費【知事指定事業】  (教育政策課 1,392千円)  事業内容 ・移動教育委員会 ・教育関係者懇談会の開催	県実施 (一部見直し)	行政関与不要	1	国・市町実施	1	県実施	⑬	抜本見直し	5
			行政関与必要	⑰		⑯			一部見直し	⑥
			<p>&lt;仕分け結果と同一区分を判定した県民評価者の主な判定理由&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業効果の把握・検証方法や目標の設定方法を見直すべき</li> <li>・県の役割(市町、関係団体、県民等との役割分担)を見直すべき</li> <li>・他の事業との関係を整理すべき</li> </ul>							
			<p>&lt;具体的な見直し・改善策又はその他意見&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報収集するには訪問回数を増やしたほうがよいのではないか。県と市町村の役割(連携を密接にする)を見直すことが必要では？</li> <li>・何のために視察するのか、テーマをもってやっているのかがよく見えてこない。問題を解決できるように視察回数、視察校を決めてやってほしい。</li> <li>・教育委員の権限を拡大してもよいのでは。</li> </ul>							

事業番号	事業名 (担当課・事業費等)	仕分け結果	県民評価者判定内訳(人)							
13	外国人児童生徒トータルサポート事業費  (学校教育課 74,000千円)  事業内容 外国人児童生徒の支援 ・相談員派遣 ・初期指導教室の検討 ・教育補助員の配置	県実施 (一部見直し)	行政関与不要	0	国・市町実施	3	県実施	⑱	抜本見直し	0
			行政関与必要	⑳		⑳			一部見直し	⑪
			<p>&lt;仕分け結果と同一区分を判定した県民評価者の主な判定理由&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県の役割(市町、関係団体、県民等との役割分担)を見直すべき</li> <li>・民間委託を進めるべき</li> <li>・事業効果の把握・検証方法や目標の設定方法を見直すべき</li> </ul>							
			<p>&lt;具体的な見直し・改善策又はその他意見&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要と思うが、民間等の協力で多言語を扱える人材が集められないか？</li> <li>・NPOを含め人材確保が必要。静岡県の場合、自動車関連企業の多い市町に外国人が集中しており、県として全面的なバックアップが必要。</li> <li>・教育プラス生活面の総合的支援が必要ではないか。</li> <li>・県と市町の役割をはっきりさせ、子どもたちや家庭への支援をしてほしい。</li> </ul>							

事業仕分け結果

事業番号	事業名 (担当課・事業費等)	仕分け結果	県民評価者判定内訳(人)					
14	全国総合体育大会等派遣費助成  (学校教育課 22,571 千円)  事業内容 県の代表として全国大会等に出場するために必要な交通費、宿泊費の一部を補助する静岡県高等学校体育連盟、文化連盟等の生徒派遣事業に対して補助する。	県実施 (一部見直し)  行政関与必要	行政関与不要	0				
			行政関与必要	⑳	国・市町実施 0 県実施 ⑳	抜本見直し 7 一部見直し ⑪ 現行・拡充 2		
			<仕分け結果と同一区分を判定した県民評価者の主な判定理由> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス受給者の自己負担について見直すべき</li> <li>・サービスの水準や対象者を見直すべき</li> <li>・事業効果の把握・検証方法や目標の設定方法を見直すべき</li> </ul>					
			<具体的な見直し・改善策又はその他意見> <ul style="list-style-type: none"> <li>・競技の種類によって自己負担額が異なるのは不公平。</li> <li>・県の代表として出るということ、部活動支援のためにも是非県が関与して補助して欲しいが、もう少しかかる経費をはっきりさせて、金銭をあまり気にせず、子どもたちがのびのびと頑張れるように支援して欲しい。</li> <li>・どの部活も補助すべき。(高体連以外の競技も)</li> </ul>					

事業番号	事業名 (担当課・事業費等)	仕分け結果	県民評価者判定内訳(人)					
17-1	青少年健全育成費 うち(ア)地域青少年活動総合推進事業  (社会教育課 2,370 千円)  事業内容 広域的な青少年活動の促進及び青少年リーダー養成を目的とした団体が実施する効果的な事業に対し助成する。	県実施 (一部見直し)  行政関与必要	行政関与不要	0				
			行政関与必要	⑳	国・市町実施 4 県実施 ⑯	抜本見直し 3 一部見直し ⑧ 現行・拡充 5		
			<仕分け結果と同一区分を判定した県民評価者の主な判定理由> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県の役割(市町、関係団体、県民等との役割分担)を見直すべき</li> <li>・事業効果の把握・検証方法や目標の設定方法を見直すべき</li> </ul>					
			<具体的な見直し・改善策又はその他意見> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然体験団体等の助成も市町の意見を反映した方が効果的になるのではないかと。県が補助対象を選定することから、市が関与することでより県民のニーズに近づくのではないかと。</li> <li>・事業の成果が分かりづらい。これにより本当に規範意識が高まっているのか。</li> <li>・助成金が必要な団体はたくさんあると思う。小さな団体でも懸命に取り組んでいるところもあるので、県からの助成も必要である。</li> </ul>					

事業仕分け結果

事業 番号	事業名 (担当課・事業費等)	仕分け 結果	県民評価者判定内訳(人)			
17-2	青少年健全育成費 うち(イ)青少年地域連 携非行防止対策事業 及び(ウ)青少年をめぐ る環境整備のための 緊急対策事業  (社会教育課 3,482 千円)  事業内容 ・ 青少年の非行 防止強調月間 の啓発活動 ・ 中学生保護者 向け冊子の作 成、配布 ・ 有害情報対策 講座と演習 ・ リーフレット「静 岡県のケータイ ルール」配布、 啓発	県実施 (一部見直し)  行政関与必要	行政関与不要 0	国・市町実施 3	抜本見直し 2 一部見直し ⑭ 現行・拡充 1	
			⑳	⑰	<仕分け結果と同一区分を判定した県民評価者の主な判定理由> ・県の役割(市町、関係団体、県民等との役割分担)を見直すべき ・事業効果の把握・検証方法や目標の設定方法を見直すべき	
			<具体的な見直し・改善策又はその他意見> ・静岡県がやるべき事業((ウ)事業、(イ)冊子の作成など)を積極的にやって 欲しいが、市町で出来ることは任せるべき。 ・効果的なパンフレットを作成し、効果的に配布して欲しい。子供の目を引 き、保護者がツールとして使えるように。また、携帯電話やスマートフォン を使って啓発活動してもよいのでは。 ・パンフレットを作成し、配布するだけでは、非行防止や環境整備は難し い。雑誌への掲載、携帯会社との協力など、効果の高い方法を探るべき。 ・地道な問題であり、継続して実施する必要がある。			

平成23年9月県議会定例会の答弁状況

(教育総務課)

1 本会議(9月27日~10月5日)

No.	質問者	質問項目	答弁者 (所管課)
1	宮沢 正美 (自改、三島市)	発達障害者の支援について 高等学校における特別支援教育	教 育 長 (学校教育課)
2	大池 幸男 (民主・島田市榛原郡北部)	新学習指導要領全面実施に向けた中学校の状況 について	教 育 長 (学校教育課)
3		静岡式35人学級編制のあり方について	教 育 長 (学校人事課)
4	蓮池 章平 (公明、静岡市駿河区)	防災対策について 公立学校施設における非構造部材の耐震化	教 育 長 (財務課)
5		特別支援学校の教育環境の改善について	教 育 長 (学校教育課)
6	山本 貴史 (無所属、袋井市・周智郡)	学校におけるお茶の利用について	教 育 長 (学校教育課)
7	鈴木 澄美 (自改、富士市)	東日本大震災での災害ボランティア活動について 高校生派遣の成果と今後の展開	教 育 長 (教育総務課)
8	源馬 謙太郎 (民主、浜松市東区)	県内市町の「自立」について 教科書採択	教 育 長 (学校教育課)
9	高田 泰久 (民主、駿東郡南部)	小学校における発達障害児への支援の強化に ついて	教 育 長 (学校教育課)
10	曳田 卓 (民主、沼津市)	大規模災害時における文化財救済施策について	教 育 長 (文化財保護課)
11	石橋 康弘 (自改、伊豆市)	児童生徒のいじめ、不登校、暴力行為に対する 対策について	教 育 長 (学校教育課)
12	相坂 摂治 (自改、静岡市駿河区)	確かな学力の育成について	教 育 長 (学校教育課)
13	藪田 宏行 (自改、御前崎市)	高等学校における伝統、文化、郷土に関する 学習について	知 事 教 育 長 (学校教育課)
14	森 竹治郎 (自改、下田市・加茂郡)	震災を踏まえた理想のふじのくにづくりについて ふじのくにの人づくり	教 育 長 (教育政策課)

※ 質問・答弁の要旨は別紙のとおり

## 2 常任委員会（10月5日）

No.	質問者	質問項目	答弁者
1	塚本 大 (自改、焼津市)	教職員の不祥事根絶に対する取組 (セクハラ・わいせつに特化した対策)	教 育 長 教育総務課長 人権教育推進室長
2		教職員の不祥事根絶に対する取組 (退職手当等の扱い)	教育総務課事務統括監
3		暴力行為等問題行動の増加	学校教育課長
4		被災地への高校生の派遣	教育総務課長
5		給食での地産地消の推進と型くずれ食材の利用	学校教育課長
6		高校の統合時における校名選考のあり方	学校教育課長
7		第103号議案 静岡県一般会計補正予算 県立学校緊急津波対策事業費	財 務 課 長
8		台風15号による被害状況	財 務 課 長
9		中学校の歴史、公民の教科書採択	教 育 長 学校教育課長
10	曳田 卓 (民主、沼津市)	第103号議案 静岡県一般会計補正予算 県立学校緊急津波対策事業費	財 務 課 長
11		第111号議案 静岡県事務処理の特例に関する条例の一部改正 学校教育法関連	教育総務課事務統括監
12		// 文化財保護法関連	文化財保護課長
13		古い建物や町並みを活かした地域活性化・観光 振興	文化財保護課長
14		モンゴルのドルノゴビ県の高校生との交流	学校教育課参事
15		スポーツ庁の創設に対する本県の対応	スポーツ振興課長
16		高校生被災地ボランティア等活動事業	教育総務課長
17		特別支援教育の充実	特別支援教育推進室長
18	四本 康久 (民主、富士宮市)	不祥事の根絶	教 育 長
19		静岡式35人学級編制	学校人事課長
20		小学校低学年支援充実事業	学校人事課長



No.	質問者	質問項目	答弁者
21	四本 康久 (民主、富士宮市)	避難所としての高校の初動体制と高校生の防災訓練への参加	教育総務課長
22		へき地手当の見直し	教育総務課事務統括監
23		文化財の被災状況と今後の対応 (富士宮市 白糸の滝)	文化財保護課長
24		別室登校の状況	学校教育課長
25	渥美 泰一 (自改、浜松市北区)	教科書採択の問題	学校教育課長
26		暴力行為等の問題行動	学校教育課長
27		通常学校と特別支援学校の特別支援教育の方針	特別支援教育推進室長
28		コンプライアンス (セクハラ・わいせつ事犯)に関する所見	教育長 学校人事課長
29		中高一貫教育の現状と今後の方向	高校再編整備室長
30		小中一貫教育の現状と今後の方向	学校教育課長
31	林 芳久仁 (民主、静岡市清水区)	第103号議案 静岡県一般会計補正予算 クレー射撃場跡地整備費	スポーツ振興課長
32		不祥事根絶対策	教育長 教育総務課長
33		小中学校の給食費の未納問題	学校教育課長
34	天野 進吾 (自改、静岡市葵区)	ふじのくに i (アイ) マップ2011の関連意見	—
35	蓮池 章平 (公明、沼津市)	監査結果の意見「教職員のメンタルヘルス」	福利課長 学校人事課長
36		プール監視委託の人件費	学校教育課参事
37		社会保険労務士の出前講座	学校教育課参事
38		障害のある児童生徒の就学に対する理解	教育長 特別支援教育推進室長

※ 質問・答弁の要旨は別紙のとおり

青少年の相互交流推進事業「スポーツ交流(高校野球)」

(スポーツ振興課)

1 要 旨

平成21年9月、及び平成23年3月に静岡県教育委員会と台湾6市縣教育局(處)との間で「青少年の相互交流推進に関する協定」を締結し、昨年度まで2回の高校野球交流を実施した。

本年度は台湾の6市縣を代表して高校野球3チームが来静し、本県高校野球チームと交流親善試合を実施する。

2 事業概要

(1) 台湾選手団在静期間：平成23年11月11日(金)から15日(火)まで(4泊5日)

(2) 交流親善試合期日：平成23年11月12日(土)・13日(日)

(3) 台湾選手団 私立穀保家事商業職業學校(新北市)

国立嘉義高級中學(嘉義市)

台中市立西苑高級中學(台中市)

○各チーム選手20人、指導者等4人、市縣代表1名、保護者数名(予定)

○役員：棒球聯盟2人、台湾教育部1人(予定)

○合計：約80人(予定)

(4) 内 容 本県の東部・中部・西部の3地区で2日間それぞれ交流親善試合を2試合ずつ実施。

(5) 主な日程

期日	東 部	中 部	西 部
11/11(金)	来日(3地区それぞれに宿泊)		
11/12(土)	交流親善試合第1日目(雨天時：県内文化・産業等見学)		
	裾野球場 ①穀保家商-葦山高 ②穀保家商-御殿場西高	草薙球場 ①嘉義高中-東海大翔洋高 ②嘉義高中-清水東高	浜松球場 ①西苑高中-浜松商高 ②西苑高中-常葉菊川高
	9:15 開始式 10:00 第1試合開始 試合終了後集合写真撮影 13:00 第2試合開始 試合終了後集合写真撮影		
	各地区毎に指導者交流会		
11/13(日)	交流親善試合第2日目(雨天時：県内文化・産業等見学)		
	富士球場 ①穀保家商-日大三島高 ②穀保家商-富士市立高	草薙球場 ①嘉義高中-静岡高 ②嘉義高中-静岡商高	掛川球場 ①西苑高中-掛川西高 ②西苑高中-浜松工高
	10:00 第1試合開始 試合終了後集合写真撮影 13:00 第2試合開始 試合終了後記念写真撮影		
11/14(月)	県内文化、産業、景勝地等見学 (雨天時予備日：文化祭等で代休の高校と対戦)		
11/15(火)	帰国		

(6) 本県代表校(秋季大会地区予選各地区上位4校)

東部：県立葦山高、富士市立高、日大三島高、御殿場西高

中部：東海大翔洋高、県立清水東高、県立静岡高、静岡市立商業高

西部：県立浜松工高、県立浜松商業高、県立掛川西高、常葉学園菊川高

静岡地区新構想高等学校（仮称）の校名応募状況

(学校教育課 高校再編整備室)

1 概要

(1) 募集期間

平成23年9月12日（月）から平成23年10月14日（金）

(2) 応募方法

はがき、ファクシミリ及び電子メール

※学校関係者（在校生・教員・保護者・同窓会等）分は各校で取りまとめた。

(3) 応募状況

応募人数	応募件数	校名案
908人	994件	545案

2 今後の予定

時 期	内 容
11月	校名選考予備審査会、校名選考審査会
12月～1月	教育委員会（校名案の検討）
2月～3月	県議会2月定例会（静岡県立学校設置条例改正案を上程）

3 参考

学 校 名	応募人数	応募件数	校名案
浜松大平台高校	1,026人	1,099件	633案
下田高校	3,769人	3,783件	120案
科学技術高校	220人	235件	150案
三島長陵高校	415人	440件	291案
遠江総合高校	912人	992件	419案
伊豆総合高校	204人	261件	146案
清庵地区新構想高校	1,308人	1,378件	466案

報告事項

平成 23 年 10 月 31 日

(件 名)

11 月の主要行事予定

日 時	行 事 名	会 場 等
11/10 (木) 午前	◎教育委員会定例会 (11 月第 1 回)	県庁西館 7 階 教育委員会議室
11/12 (土) 午後	☆「子ども・若者育成支援強調月間静岡県大会」	森町文化会館 (ミキホール)
11/17 (木) 終日	◎移動教育委員会	県立下田高校 南伊豆分校
11/22 (火) 午前	☆SPAC観劇	静岡芸術劇場
11/22 (火) 午後	◎教育委員会定例会 (11 月第 2 回)	県庁西館 7 階 教育委員会議室
11/23 (水) 午後	○第 16 回県民俗芸能フェスティバル	伊東市観光会館

○委員長、◎全委員 ☆希望者